

平成24年度 学校自己評価システムシート (県立川越女子高等学校)

目指す学校像	「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱として組織的教育活動を展開し、進学実績の向上を図る。生徒が主体的に学ぶ「質の高い授業」の創造に全力で取り組む。
--------	--

重点目標	1 「質の高い授業」「組織的な進路指導」「SSH事業」等を継続的・体系的に実施することにより、生徒の学習意欲(進路意識)を喚起するとともに、自学自習力の定着に努め、学力の向上を図る。(学力の向上) 2 「品格のある、志の高い生徒」「自主・自律の精神に満ちた生徒」を育成するために、学校行事・生徒会活動・部活動及び体験活動等の充実を図る。(人格の陶冶) 3 学校自己評価システムを効果的に実施し、「目指す学校像」を実現するために教職員の学校経営参画意識を一層高めるとともに関係者との連携を更に深める。(開かれた学校づくり)
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	12名
	生徒	40名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ○1年次当初の学習習慣の確立と全学年の学力向上や自学自習力育成は継続課題 ○組織的な進路指導推進のための情報の共有化や職員研修の充実 ○H24 SSH事業の発展 ○新学習指導要領を見据えた授業の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習力の向上 ・質の高い授業の創造 ・体系的な進路指導の充実 ・SSH事業の発展 ・新教育課程に照らし、本校のニーズに合わせた教材の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活状況調査を継続的に実施し、結果の検証を踏まえ生徒への個別指導にあたる。 ・管理職による授業参観、教員相互授業参観、外部の授業研究により質の高い授業を創造する。 ・志願校検討会を実施し、生徒一人一人の進路希望に組織的に対応する。 ・SSH活動を核に進路意識を啓発する ・国際交流を推進する。 ・教科会で活発な意見交換を行い、新しいシラバスを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活状況調査の継続実施による個別指導の結果、家庭学習時間の不足する生徒をなくしたか ・質の高い授業を創造したか ・志願校検討会を実施し、組織的に対応したか。 ・SSH活動を核に進路意識が高まったか。 ・新しいシラバスを完成できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い授業創造に学校全体で取り組んだ。 ・進路研修会を予定通り実施した。 ・志願校検討会を2学年で1回、3学年で2回実施した。 ・25年度SSH事業と関連させたオーストラリアケニアハイスクールとの交流実施に向けて準備中である。 ・新学習指導要領を見据え、授業ふり返りの教科会を持ち共通理解を深めた。 ・新しいシラバスを作成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の確保に向けた指導を工夫する。 ・引き続き生徒が主体的に学ぶことが出来る質の高い授業創造に取り組む。 ・学習OTをより効果的なものにするため内容と実施方法を改善する。 ・進学実績をさらに向上させることを目指したい。 ・ケニアハイスクールとのSSH事業と関連させた国際交流を充実させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活全般にわたる生徒の自主・自律の精神や品格の向上の継続的な指導 ○学校行事・部活動・生徒会活動等で短時間かつ密度の濃い活動の工夫の継続 ○生徒相談体制の強化及び今日的課題に関する啓発活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主・自律の精神に満ちた自立した人間の育成 ・顧問や担任との密な連絡体制の確立 ・関係者の連携による生徒指導体制の充実・啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒各種委員会を活性化し生徒の自主的な活動を促し、品格を向上させる。 ・こまめに面談を実施する。 ・休日の有効活用と下校時刻を徹底する。 ・管理職、学年主任、生徒相談係の生徒相談関係連絡調整会議を実施する。 ・ネットトラブル防止啓発講演会の開催と教職員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的かつ統一的な対応に基づき、生徒の自主的な活動を支援したか。 ・面談を通じ、生徒理解に努めたか ・短時間で活動に工夫が見られ、実績や成果の維持・向上があるか ・連絡調整会議が定期的に有効に行われたか。 ・ネットトラブル防止の啓発が計画的に行われたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人格の陶冶の観点から生徒の自主的活動を積極的に支援した。 ・新入生の18時下校を実施(4月中)した。19時の完全下校は保護者アンケートで96%で守られていると回答があった。 ・各種アンケートを実施し生徒理解を深め、対応を検討した。 ・教育相談は臨時の2回を含め予定通り実施し、生徒相談関係連絡協議会を3回実施した。 ・ネットトラブル防止講演会を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体の短時間効率化が課題である。生徒の完全下校時間はさらに徹底させる必要がある。 ・人格の陶冶(自主自律の精神と品格の向上)を継続的に進める。 ・引き続き、19時完全下校の徹底を図る。 ・教育相談体制は年20回の相談と3回の連絡協議会で教員の共通理解を図るなど整備されてはいるが、支援を必要とする生徒への対応はまだ完全ではない。更に充実させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員・懇話会委員・生徒・保護者の意見のフィードバックと担当部署の改善を継続 ○生徒の学校生活向上・改善を視野に入れたアンケートの実施 ○本校の教育活動に関する情報発信と広報活動の充実 ○小中学校との連携推進活動の重点化 ○家庭との更なる連携強化及び情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価システムの適切な運用 ・学校評議員会や学校評価懇話会等からの提言の検討と効果的活用 ・開かれた学校づくりの取組 ・小中学校との連携推進行事の実施 ・PTAとの協力により学校の教育力向上の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、分掌、委員会、教科ごとに到達目標の設定と具体策の立案、実施、評価を行う。 ・授業評価アンケートの改善と保護者アンケート等を行う。 ・学校評議員会や学校評価懇話会等の提言を各分掌教科会で活発な意見交換を行う。 ・授業公開を積極的に行う。 ・学校説明会を効果的に実施する ・学校案内の改訂、ホームページの逐次更新をする。 ・中学への補充授業、小学校交流等連携を密にする。 ・PTA各種委員会の活動を更に活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署において到達目標の達成状況を的確に評価できたか。 ・生徒アンケート結果を反映して授業力が向上したか。 ・学校評議員会や学校評価懇話会の提言及び保護者アンケートを学校運営・教育活動の改善に効果的に活かしたか。 ・本校の教育活動を適切に周知できたか。 ・学校案内の改訂、学校説明会の効果的実施、ホームページの逐次更新ができたか。 ・出前授業等で小・中学校との連携を5回以上できたか ・家庭への情報提供方法は改善できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に学年、分掌、教科等で評価総括を実施する。 ・生徒授業評価アンケートを2回実施し、結果を授業や施設等の改善にフィードバックした。 ・SSH事業を含めホームページを適宜更新し、教育活動を周知できた。 ・保護者アンケートを継続し前年度と比較することで問題点や課題を客観的に評価できた。 ・小中学校との交流は、1小学校、2中学校と延べ6日実施した。 ・家庭への情報提供の保護者評価は昨年の81%から99%と大幅に改善した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭との更なる連携強化のため、保護者アンケート結果を教育活動に反映させていく方法を研究する。 ・小中学校との連携活動の強化と共に連携の効果的な実施方法や内容を検討する。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日 平成25年2月9日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領を見据え、前・後期それぞれに授業振り返りの教科会を持ち共通理解を深める取組は素晴らしい。 ・とても高いレベルの授業を行っており、進路実績もとても高いレベルである。 ・教員ばかりでなく、生徒が「授業にどう臨むべきか」という話し合いをLHRですするなど、双方向の教育がなされていることは素晴らしい。生徒が教員を思い授業を受けているのだから、教員もそうあって欲しい。 ・講演会は文系のものもっと企画して欲しいという意見もあるが、SSH指定校なので、理系に特化してもよい。 ・一斉教授型の授業から双方向の授業への改善も期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主自律の精神の育成という伝統の中、教員が生徒にまかせるという素晴らしい教育の姿勢がある。しかし、ただまかせるだけではないのが素晴らしい。ロードレース大会で見た教員による生徒に対する手厚いサポートには感動した。 ・自主自律について、生徒の話し合いができていたことは素晴らしい。このことが、学校作りに生徒が共に参加していることになる。 ・品格について、年度ごとに講師を招き講演会を開催するのも良いのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生対象の補習サポートは、将来教員を目指す生徒にとってもプラスであり、今後も是非続けて欲しい。 ・記名式のアンケートでは、それに対する回答をしっかりと反映させるべきである。 	